

海外経済

| | | 2017年6月 | 2017年7月 |
|---------|--------|---|--|
| 世界経済 | | <p>世界の景気は、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、<u>アメリカの金融政策正常化の影響</u>、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。</p> | <p>世界の景気は、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。</p> |
| アメリカ | | <p>アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。 先行きについては、着実に回復が続くと見込まれる。ただし、今後の政策の動向及び影響等に留意する必要がある。</p> | (変更なし) |
| アジア地域 | 中国 | <p>中国では、各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、各種政策効果もあり、当面は持ち直しの動きが続くものと見込まれる。ただし、不動産価格や過剰債務問題を含む金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。</p> | (変更なし) |
| | その他アジア | <p>韓国では、景気はこのところ持ち直しの動きがみられる。台湾では、景気は持ち直しの動きがみられる。インドネシアでは、景気はこのところ持ち直しの動きがみられる。タイでは、景気は持ち直しの動きがみられる。インドでは、景気は内需を中心に緩やかに回復している。</p> | (変更なし) |
| ヨーロッパ地域 | ユーロ圏 | <p>ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。ドイツでは、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、地政学的リスクの影響、政策に関する不確実性の影響等に留意する必要がある。</p> | (変更なし) |
| | 英国 | <p>英国では、一部に弱めの動きもみられるが、<u>景気は回復している</u>。先行きについては、EU離脱問題に伴う不透明感の高まりによる影響から、回復が緩やかになることが見込まれる。<u>また、その影響の拡大に留意する必要がある。</u></p> | <p>英国では、<u>景気回復は緩やかになっている</u>。先行きについては、EU離脱問題に伴う不透明感による影響から、回復がさらに緩やかになることが見込まれる。</p> |